

郷音

No. 84

〒590-0959

日本キリスト教団 堺川尻教会

堺市堺区大町西三丁目一十三

☎〇七二・二三三二・三五三一

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。」(ルカ二章十一節)

クリスマスの讃美歌に「きよしこの夜」があります。「きよしこの夜」は世界で最も愛されている讃美歌の一つでしょう。これを作ったのは無名の牧師ヨーゼフ・モールとオルガニスト、フランツ・グスィブ、オーストリアの小さな村オーベンドルフの教会のオルガンが壊れてしまいました。このままでは主のご降誕を祝うイブ礼拝が台無しです。二五歳の若い牧師と三十一歳のオルガニストにとって、これは最悪の事態でした。

その中で二人は、ギターの伴奏で歌うことができる讃美歌を急遽自作することにするのです。そうして出来上がったのが「きよしこの夜」です。この歌はイブ礼拝に集った人々の心を強くとらえ、人

から人へと伝えられていき、やがて世界で最も愛されるクリスマス讃美歌となりました。

これはまさに神の御業でした。神は、私たち人間から見れば最悪の状況の中に、思いもかけない救いと恵みをお与えになるのです。主イエス・キリストがお生まれ

きよしこの夜

ルカによる福音書二章一〜十二節

塚本一正牧師



しかし皇帝の命令に背くわけにはいきません。重税を課せられるための長い旅を、二人は危険を冒してしたのです。この時の二人の状況はまさに最悪でした。

悪いことは続きました。旅の途中まだベツレヘムにいるうちにマリアが産気づいたのです。どの宿屋も満員で、二人は家畜小屋に入り、そこでマリアは初めての子を産んだのです。初産をそのような場所で行わなければならなかった

若いマリアは、どんなにみじめで辛かったことでしょう。これがクリスマスが出来事が起こったときの人々の状況でした。

しかし、そのようにしてお生まれになったお方こそ、神の独り子、私たち全ての人間の救い主イエス・キリストであられたのです。

この時、飼い葉桶に寝かされたみどりごイエスは、どのような様子だったのでしょうか。「きよしこの夜」はこう歌います。「きよしこの

夜、星は光り、救いの御子は、まぶねの中に、眠りたもう、安らかに。」この時人々の状況は最悪でした。ユダヤの人々も、ヨセフとマリアも。しかし、お生まれになった御子イエスは「眠りたもう、安らかに。」私たちがどんなに最悪の状況に置かれる時にも、そこに神の子イエスが共にいてくださり、私たちに平安を与えてくださるという事です。

また「きよしこの夜」はこうも歌います。「きよしこの夜、御子の笑みに、新しき世の、あしたの光、輝けり、朗らかに。」みどりごイエスが笑っておられるというのです。人間の世界が闇のようなのに、飼い葉桶に寝かされたみどりごイエスは笑っておられる。この御子の笑みに、新しい世の希望の光が朗らかに輝いていると歌うのです。人の目にはこの世がどんなに最悪の状況に見えても、そこに共にいてくださる救い主キリストによって、この世界には希望の光が確かに朗らかに輝いているということなのです。この喜びの訪れを今年も私たちは祝います。